**語学能力評価シート[英語以外]**

本評価シート記載事項は、明治大学（以下本学）大学間協定留学に応募した学生（以下応募学生）が、派遣候補生として本学協定校で学ぶために必要な言語能力を保持しているか判断するための選考資料となります。 この評価は、本学で当該外国語の授業を担当する教員が行う必要があります。 担当教員は、以下のすべての質問に、日本語または英語で回答し、自署の上ご提出ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1.リスニング力(listening)・会話力(speaking)の評価は何に基づいて行いましたか？ | （例：20分間の対面での面談） | 4.ご自身の評価に基づき、応募学生に該当する言語レベルを記入してください。 |
| 2.読む力(Reading)・書く力(Writing)の評価は何に基づいて行いましたか？ | （例：研究論文） | （例： B2, TOPIK 3, HSK 3） |
| 3.応募学生をどれくらいの期間、どのような立場で知っていますか？ |  |

【参考】言語の枠や国境を越えて外国語の運用能力を同一の基準で測る国際基準である「ヨーロッパ共通言語参照枠（CEFR）を以下に示します。　出典： British Council CEFR (https://www.britishcouncil.jp/sites/default/files/ees-cefr-jp.pdf)

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Level | CEFR | 「何ができるか」を示した熟達度一覧 |
| 熟達した  言語使用者 | **Ｃ２** | 聞いたり、読んだりした、ほぼ全てのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に、流暢かつ正確に自己表現ができる。 |
| **Ｃ１** | いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の詳細な文章を作ることができる。 |
| 自立した  言語使用者 | **Ｂ２** | 自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とはお互いに緊張しないで普通にやり取りができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。 |
| **Ｂ１** | 仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいる時に起こりそうな、たいていの事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。 |
| 基礎段階の  言語使用者 | **Ａ２** | ごく基本的な個人情報や家族情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係がある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常の事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。 |
| **Ａ１** | 具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし、相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやり取りをすることができる。 |

評価学生氏名：

コメント (任意):

評価者所属学部及び職格：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　評価者メールアドレス：

評価日：　　　　　　　年　　　　　月　　　　　日　　　　　　　　　　　　　　評価者氏名（自署）：